

サンドアートの作り方

最初に砂を運んで、土台を作ります。

土台の大きさの目安として、ポリバケツの円の直径が70cmなので、直径が1.5mほどの大きさが安定します。

砂を写真のように積み上げ、水をかけながら足で踏み固め平らにします。



ポリバケツを土台にのせ、波打ち際より貝や粗い砂の入っていない、細かい砂をポリバケツ内に投入します。

ポリバケツの中に人が入り、足で踏み固めながら、海水と砂を交互に投入します。

ポリバケツの半分ほど埋まったら、固める魔法の水を投入し、最終的にポリバケツ一杯になるまで海水と砂を交互に入れます。

途中、木の棒で突くことで、砂の中の空気が抜け、より安定し造形しやすい砂像の元ができます。

最後に魔法の水を投入し、水が抜け落ちるまで待つてください。

一番の注意点は、砂を一度にたくさん入れすぎずに、10cm積んでは海水をヒタヒタに入れ、しっかり踏み固めることです。

水が抜けたらバケツを外します。コツが入りますので、必ず経験者指導の下、JCメンバーと一緒にで行ってください。

一番崩れやすいところです。

バケツを外したら、後は参加者のみで砂像作りをしてもらってください。

